工 事 説 明 書

ガスビルトインコンロ [設置フリータイプ]

型　式　名
C3WF2KJT・DW30F2JT

工事を誤った場合に危害･損害の程度を、次のように区分しています。 いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。	
⚠警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	使用者が安全に快適に使用していただくために理解していただきたい内容です。

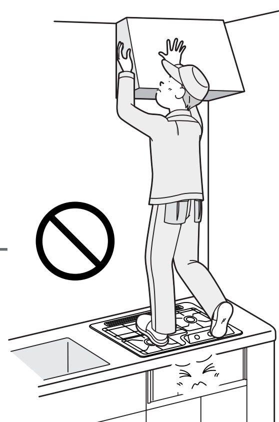
 **禁止**　　 **必ず守る**

工事される方へ（この「工事説明書」を設置工事前に必ずお読みください。）

● 設置の種類に応じて工事を行ってください。
（1）ビルトインコンロのみを単体で設置する場合 ⇨ 6ページ
（2）ビルトイン形ガスオーブンとセットで設置する場合 ⇨ 11ページ

⚠警告

● 機器を安全にご使用いただくため、この工事説明書をよく読んでから、有資格者による指定された工事を行う。
● 建築基準法、当該地区の市・町・村の条例、消防法、ガス事業法、液化石油ガス法、「ガス機器の設置基準および実務指針」(日本ガス機器検査協会刊)に従う。
● **機器の上には絶対に乗らない。**
ごとくが破損し、思いがけない事故の原因となります。



お願い

● 乾電池を抜かずに器具栓つまみを 開の状態 で放置しないでください。乾電池の消耗が早くなります。
● 乾電池を使用しているガス機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取りはずしてください。
<u>そのままにしておきますと思わぬ事故になることがあります。</u>

● この工事説明書の記載内容をはずれた設置が原因で生じた故障および損傷は、保証期間内であっても保証の対象とならないので注意してください。
● 設置工事が終わったら、この工事説明書にもとづいて設置されていることを確認してください。
● 工事終了後、保証書（取扱説明書に記載）に必要事項を記入してください。
● 取扱説明書（保証書付）は工事終了後必ずお客様に渡してください。
● 取扱説明書に従って、お客様に機器の操作方法など、取り扱い説明をしてください。



ケD97-01

開こん

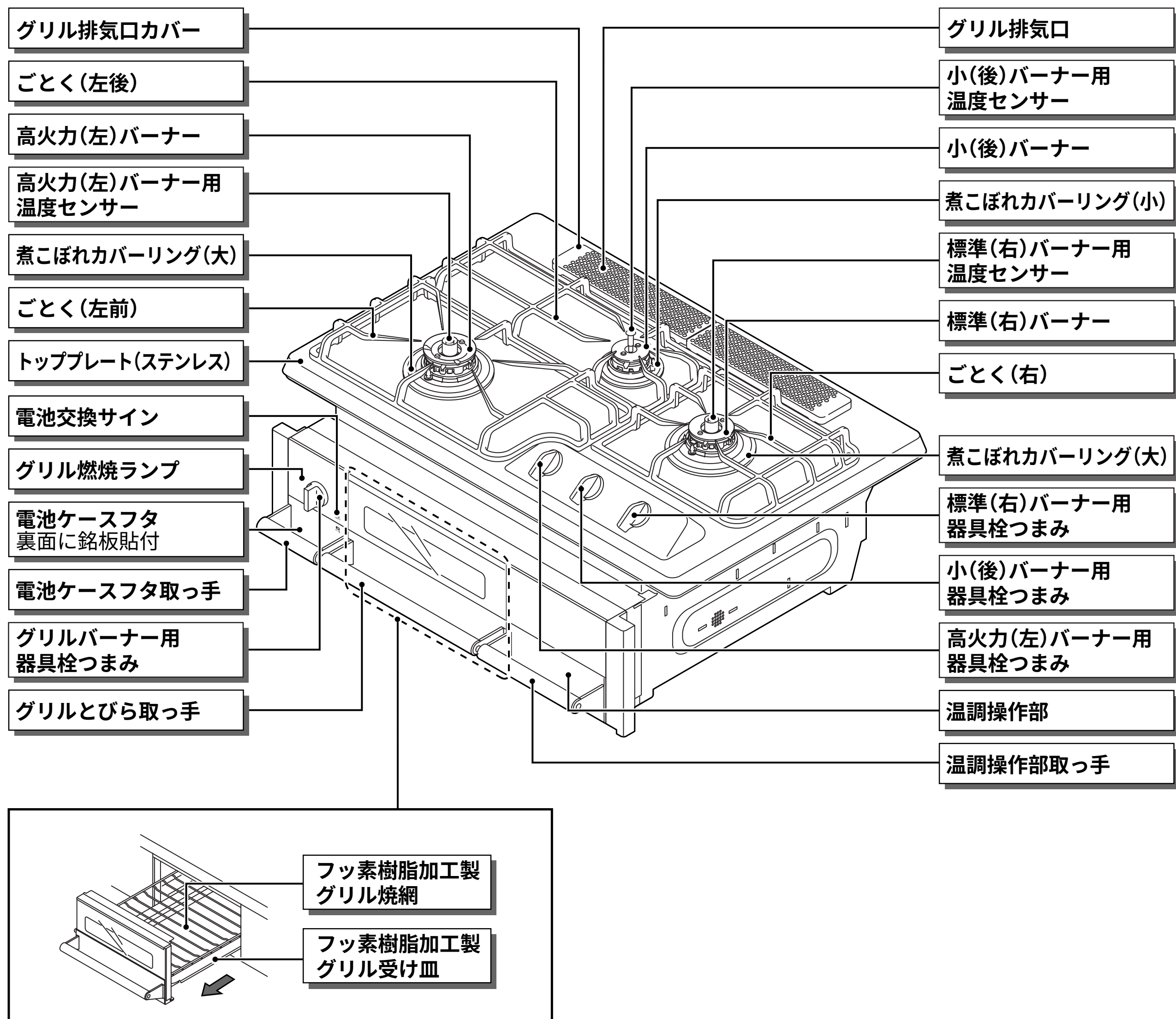
■同こん部品・付属品の確認

次の部品が同こんされています。不足のないことを確認してください。

部品名	形状	個数
バーナーキャップ（L） ＜高火力バーナー用＞		1
バーナーキャップ（M） ＜標準バーナー用＞		1
バーナーキャップ（S） ＜小バーナー用＞		1
ごとく（左前）		1
ごとく（左後）		1
ごとく（右）		1
煮こぼれカバーリング（大） ＜高火力・標準バーナー用＞		2
煮こぼれカバーリング（小） ＜小バーナー用＞		1
コンロ用器具栓つまみ		3
サイドモール（左） サイドモール（右）		各1

部品名	形状	個数
機器固定用ボルト	M5×16	4
検圧口ネジ用 アルミパッキン	ビルトインコンロで検圧した場合の取り替え用です。 機器取付パッキンとは形状が異なりますので注意してください。	1
グリル焼網		1
グリル排気口カバー		2
電池ケース （アルカリ乾電池単1形 2個付）		1
ダッチオーブンフタ ダッチオーブン網 ダッチオーブン本体 ダッチオーブン支持網		各1
鍋つかみ		2
取扱説明書（保証書付） 工事説明書 サービス網一覧表 レシピカード クッキングブック		各1

各部のなまえ


グリル排気口カバー
ごとく（左後）
高火力（左）バーナー
高火力（左）バーナー用
温度センサー
煮こぼれカバーリング（大）
ごとく（左前）
トッププレート（ステンレス）
電池交換サイン
グリル燃焼ランプ
電池ケースフタ
裏面に銘板貼付
電池ケースフタ取っ手
グリルバーナー用
器具栓つまみ
グリルとびら取っ手
グリル排気口
小（後）バーナー用
温度センサー
小（後）バーナー
煮こぼれカバーリング（小）
標準（右）バーナー用
温度センサー
標準（右）バーナー
ごとく（右）
煮こぼれカバーリング（大）
標準（右）バーナー用
器具栓つまみ
小（後）バーナー用
器具栓つまみ
高火力（左）バーナー用
器具栓つまみ
温調操作部
温調操作部取っ手
フッ素樹脂加工製
グリル焼網
フッ素樹脂加工製
グリル受け皿

設置前の注意

▣設置する機器の確認

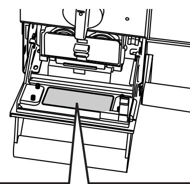
◎設置する機器が、ご使用になる目的、用途に適合していることを確認してください。

⚠注意

- 銘板（電池ケースフタ裏面に貼付）に表示してあるガスに適合している事を確認する。
  火災、不完全燃焼、爆発点火のおそれや、機器が故障する原因にもなります。
- ガス種の異なる地域へ転居した場合は、部品交換や調整が必要のため注意する。
  爆発や不完全燃焼の原因になります。
- この機器は調理以外の用途には使用できないため、用途を確認し設置する。
  火災・不完全燃焼・機器の故障の原因になります。



確　認



〈銘　板〉

部分を確認してください。
製造年月・製造Noを表示しています。
品名コード
(型式名)
都市ガス用
13A ○○○kW
製造年月
H　N
C3W○○○○○
株式会社　ハーマン
JIA認証

▣設置場所の確認

◎設置場所をお決めになるときは、次の事項をよく確認してから決めてください。

⚠注意

- 設置するガス機器および同一室内に設置してある他のガス機器のガス消費量に対し、十分な換気設備がある場所に設置する。
  他のガス機器と同時に使用した場合、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 設置場所を決めるときは、お客様とよく相談し、安全な場所で、周囲に危険物・可燃物などがなく、火災の危険がない場所に設置する。
- 水平で丈夫な場所に設置し、不安定なときは補強工事を行う。
- 保守メンテナンススペースが確保されていることを確認する。
  設置後、トラブルの原因になったり、点検・修理に支障をきたします。
- 引火性の危険物（ガソリン・灯油・ベンジン・接着剤など）や、業務用薬品（アンモニア、硫黄、塩素、エチレン化合物、酸類などの腐食性薬品）を周囲で保管したり、取り扱う場所には設置しない。
- ガス機器は、ガス工作物、電気工作物などの他の設備に悪影響を与えない位置に設置する。
- 棚の下など落下物の危険がある場所や樹脂製の照明器具、ガス湯沸器の下には設置しない。
  火災のおそれや思いがけない事故の原因になります。
- この機器は家庭用のため、業務用として使用する場所に設置すると著しく機器の寿命が短くなります。
- コンロ下部キャビネット裏側は、外部から風などの影響を受けない構造にする。
  ・右図のようにガス配管貫通部など建物構造上内気と外気がつながり、図1のような異常な空気の流れが起こるのでキャビネットに背板をもうけるか、図2のようにベニヤ板など（仕切板）により機器の後方をふさいでください。
  コンロの炎がゆらいだり、消えたり異常燃焼や機器焼損のおそれがあります。

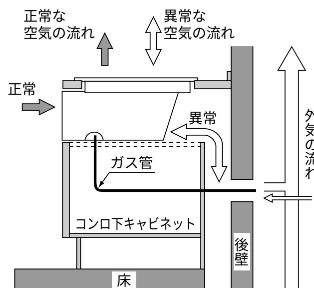


図1

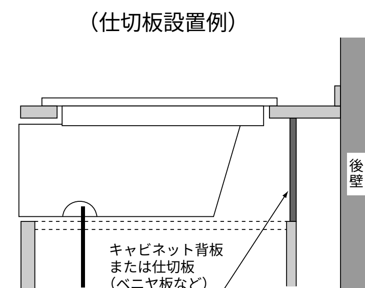


図2

- 上記のほか設置場所について、次のことを守ってください。
  ・冷暖房装置の吹き出し口近くや、強い風が吹き込む場所に設置しない。
  ・奥行き600mm以上のワークトップに設置する。

機器の設置

防火上の離隔距離

◎機器を設置する周囲の壁などが、防火上安全な場所かまたは、防火上有効な間隔を確保することが出来る場所に設置してください。

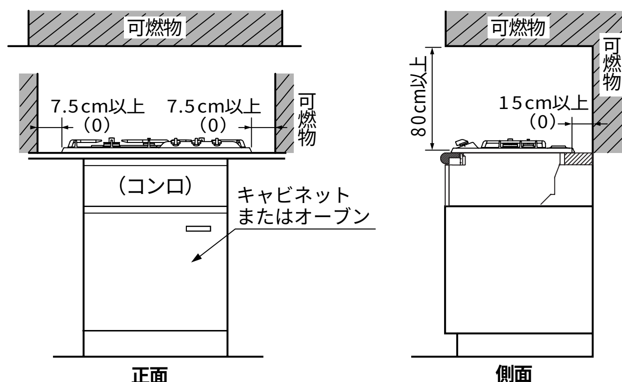
◎この機器は防火性能評定品です。

※機器の周囲の可燃物（可燃材料、難燃材料または、準不燃材による仕上げをした建物の部分も含む）とは、下表に基づき下図の離隔距離を確保してください。

⚠注意

- 周囲の障害物、可燃物との離隔距離が確保されていることを確認する。
火災のおそれがあります。

機器の周囲が可燃物の場合



ガス機器防火性能評定品			
可燃物からの離隔距離（cm）			
上方	側方	前方	後方
80以上	7.5以上	15以上	15以上

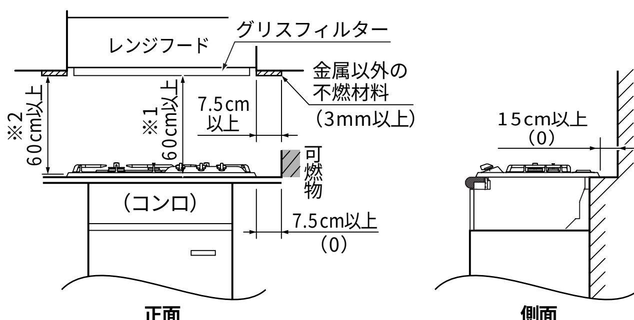
上方がレンジフードファンおよび不燃材の場合

グリスフィルター　金属以外の不燃材（3mm以上）　7.5以上　7.5以上　60以上　60以上　15以上

財団法人　日本ガス機器検査協会

防火性能評定シール
（トッププレートに貼付）

レンジフードまたは不燃材の場合



※1 レンジフードファン以外の場合は80cm以上。
※2 不燃材料がない場合は80cm以上。

※（　）内は、周囲の壁が不燃材料で有効に仕上げた部分もしくは、防熱板を取り付けたときの寸法です。

◎上記離隔距離がとれない場合は、必ず防熱板による防火措置を行ってください。

- 防熱板は7種類用意しています。
- 用途に合った防熱板を選んでいただき、正しく取り付けてください。
※取り付け方法は別売の防熱板に同こんされている「取付説明書」をご覧ください。

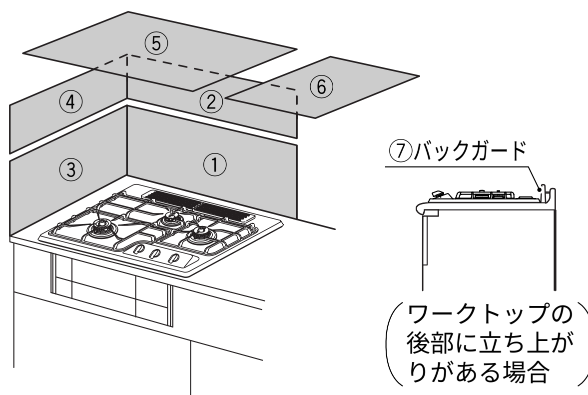
⚠注意

- 防熱板（別売品）は、必ず指定のものを使用する。
- 防熱板に同こんされている「取付説明書」に従って正しく取り付ける。

火災のおそれがあります。

	コード番号	高さ(mm)	幅(mm)
①	LP0112	350	750
②	DP0121	200	750
③	LP0106	350	535
④	DP0120	200	535
⑤	LP0107	550	900
⑥	LP0117	550	150
⑦	DP0104	90	750

※DP0104はワークトップ後部の立ち上がり用



※イラストはイメージ図です。

防熱板のお求めは、お買い求めの販売店または、もよりの弊社（別紙サービス網一覧表）に連絡してください。

■ワークトップおよびキャビネットについて

◎ワークトップ材は熱硬化性樹脂化粧板（JIS K6903）または同等以上の材料としてください。

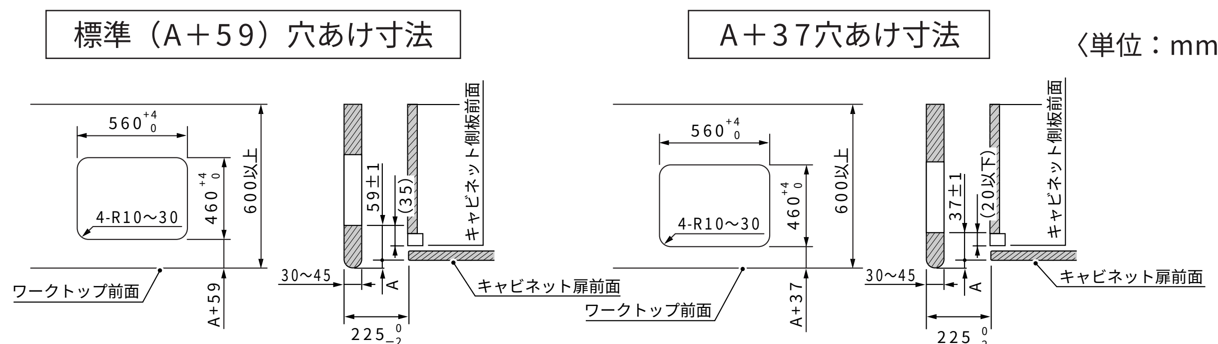
- ワークトップの表面がニス引きのものは変色しますので使用しないでください。

◎機器を組み込むために、下図の寸法穴に加工してください。

- 穴あけ寸法は、公差内になるように加工してください。
- 公差外になると取り付けができなくなります。

⚠注意

- 45mmを超える厚いワークトップには設置しない。
  ワークトップの温度が上がり焼損のおそれがあります。



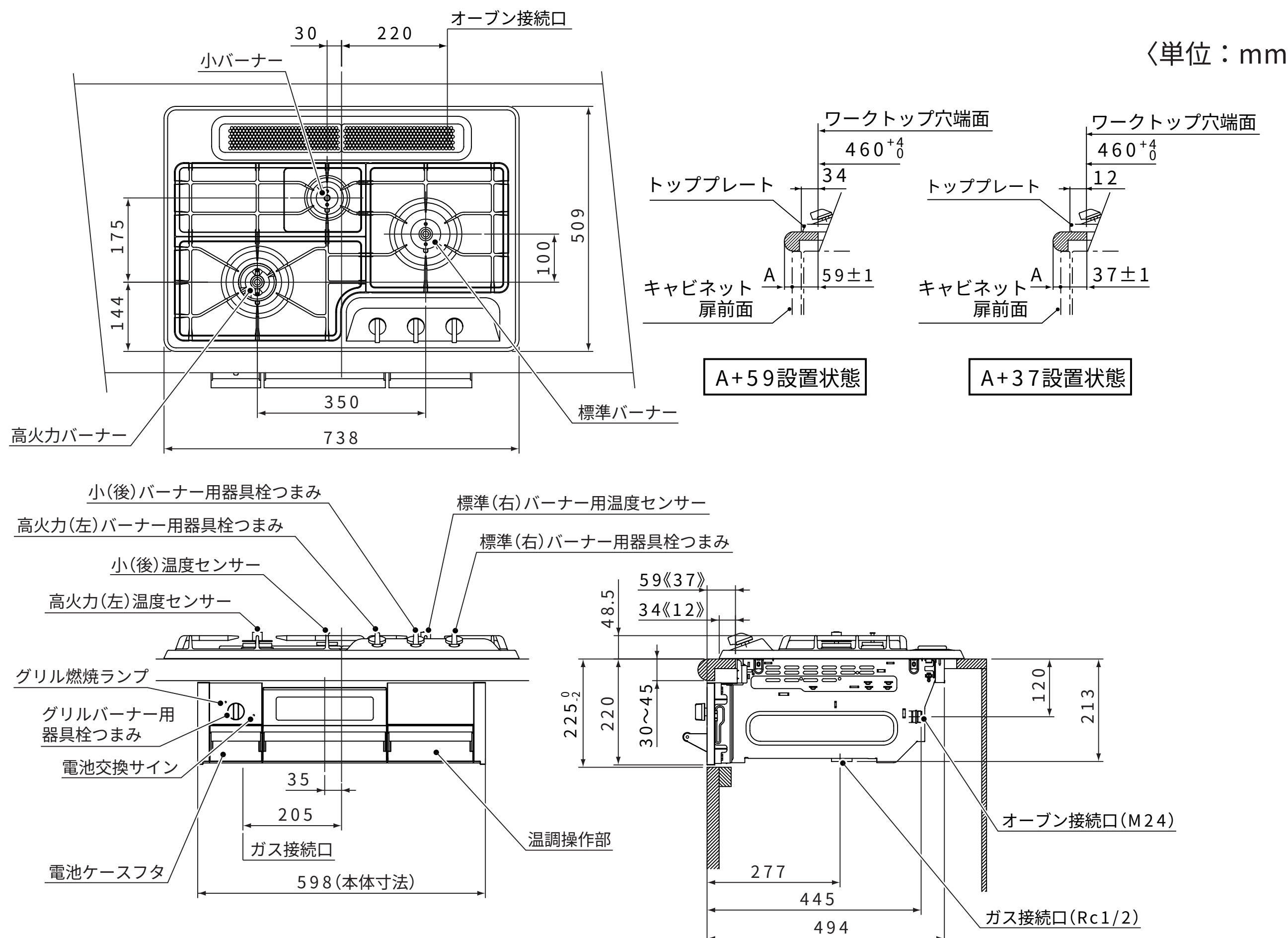
穴あけ寸法はA＋59が標準です。ただし、設置フリータイプですのでワークトップ穴あけ寸法はA＋59、（A＋45）A＋37のどちらでも設置できます。

■機器の取り付け

◎ビルトインコンロ単体で設置する場合

［標準設置図・機器寸法図］

※《　》内の寸法はA＋37設置寸法です。



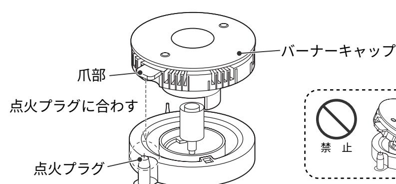
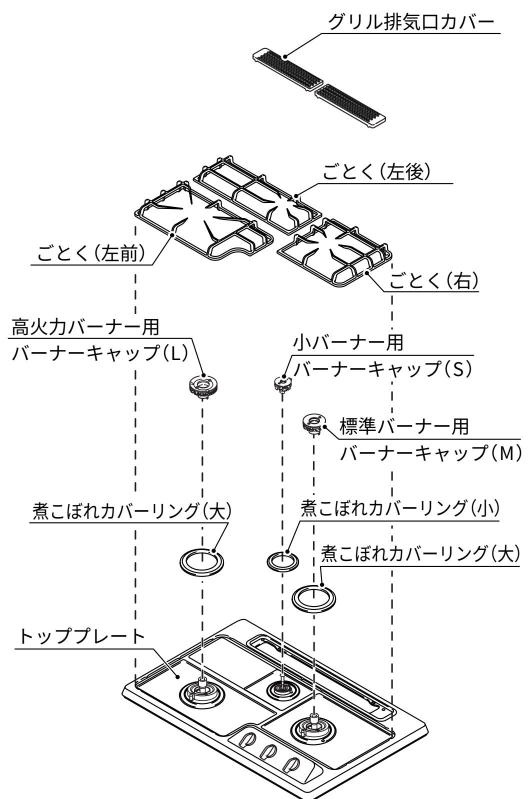
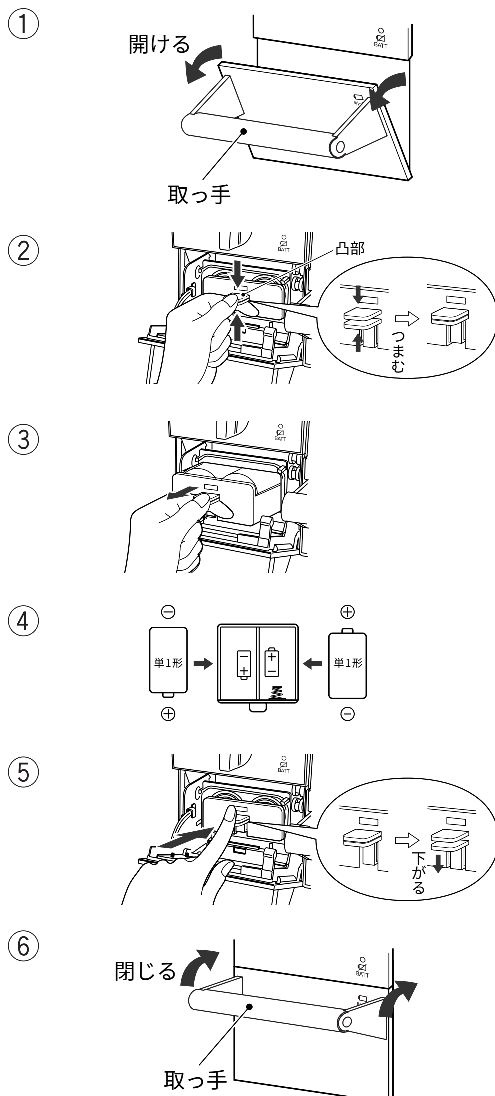
[機器本体の取り付け]

作　業　手　順	説　明　図
1. 機器側ガス接続口の接続フタの取りはずし ● 機器底部左側のガス接続口に取り付けてあるガス接続口フタ（ネジ3本）とOリングを取りはずしてください。 **取りはずした部品は不要です。**	Oリング 接続フタ 取り付けネジ （本体底部左側）
2.前面パネル包装材の取りはずし **①前桟パットの取りはずし** ● 前桟パットを手前に引き抜いてください。 **②前パットの取りはずし** ● 前パットを固定しているテープのみをはがし、前パットを取りはずしてください。 **お願い** ● その他のテープ、ポリシート、施工扉パットは、機器本体のはめ込みが終わるまで、はがさないでください。はがすとグリルとびら・温調操作部が開いて傷をつける場合があります。	テープ 施工扉パット テープ 前桟パット テープ 前パット（ポリ袋入り）
3. 機器本体のはめ込み ● 機器中央部の設置用取っ手を持ち、機器本体をキャビネットにはめ込んでください。 ・上部左右の枠を持たないでください。 ・ガス配管やバーナーなどを持たないでください。ガス漏れや異常燃焼の原因になります。 ・はめ込み時はパネルなどを傷つけないようにしてください。 ・機器周囲に取り付けてあるシールパッキンを取りはずさないでください。 **⚠注意** ● 機器を設置したあと、設置用取っ手を手前に倒す。トッププレートが変形するおそれがあります。	設置用取っ手 シールパッキン （機器内のガス配管、バーナーなどは持たないでください。） 部は持たないでください。
4. グリル内包装材の取りはずし ● 2で取りはずした残りの包装材を取りはずし、グリルとびらを引き出し、焼網パット・チラシ・ポリシートを取りはずしてください。	焼網パット グリル焼網 グリル受皿 チラシ ポリシート

作　業　手　順	説　明　図
5. サイドモールの取り付け ● サイドモールには、保護シートが貼り付けてありますので取り付け前に必ずはがしてください。 ● サイドモールをパネル両サイドの凸部（切り込み）にまっすぐに差し込み、奥にあたるまで差し込んでください。 ※サイドモールは、（左）（右）がありますので、右図のとおり取り付けてください。	サイドモール（左） サイドモール（右） 凸部（切り込み）
6. 機器本体の固定 ● 機器本体側面の後部ナット部に付属の機器固定用ボルト（2本）を取り付け、手前に取り付け済みの機器固定用ボルト（2本）の計4本で、ワークトップに機器を固定してください。 **付属の機器固定用ボルト2本は予備用です。** ・機器前面とキャビネット前面とのおさまり具合を確認しながら位置決めを行ってください。 ・機器周囲に取り付けてあるシールパッキンがはずれたりしていないか確認してください。はずれたり、かみ込んだりしている場合は図のようにワークトップに密着するように確実に取り付けてください。	固定用ボルト（付属品）（2本） 固定用ボルト（取付済品）（2本） スパナ（呼び7）を使用してください。 シールパッキン ワークトップ

[部品の取り付け]

作　　業　　手　　順	説　　明　　図
1. トッププレートの取り付け ①機器本体に止めてあるトッププレート固定用ネジ（前部・後部各2本）をはずしてください。 （このネジは④で使用します。） ②トッププレートの、後部角穴に機器本体後部突起部を挿入してください。 ③器具栓スピンドルが、トッププレート右前部の穴（3ヶ所）の中心になるようにトッププレートの位置を合わしてください。 ④①ではずしたトッププレート固定用ネジでトッププレートを機器本体前部および後部で固定してください。 ● ネジをゆるめたり、締めつける際には手動ドライバーを使用してください。 電動ドライバーではネジが利かなくなります。 **お願い** ● トッププレートの取り付けは確実に行い、浮きがないことを確認してください。	トッププレート固定用ネジ トッププレート後部角穴 トッププレート右前部穴 機器本体ネジ止め用穴 機器本体後部突起部 機器本体ネジ止め用穴 器具栓スピンドル 止　止　止 穴　穴　穴 点火　点火　点火 器具栓スピンドル
2. コンロ器具栓つまみの取り付け ● 器具栓スピンドル軸部に器具栓つまみ穴部を合わせ、器具栓つまみを奥まで差し込んでください。 ※目印（グレー）が上になるように差し込んでください。	器具栓つまみ表側　器具栓つまみ裏側　器具栓スピンドル 目印（グレー） 穴 軸 コンロ用器具栓つまみ 器具栓スピンドル

作　　業　　手　　順	説　　明　　図
3. 煮こぼれカバーリング・バーナーキャップ・ごとく・グリル排気口カバーの取り付け ● 煮こぼれカバーリング・バーナーキャップ(下記参照)、ごとく・グリル排気口カバーの順に正しく取り付けてください。 **詳細は取扱説明書を参照してください。** **バーナーキャップの取り付けかた** ● 図のようにバーナーキャップの爪部が点火プラグの真上にくるように合わせて、バーナーキャップをセットしてください。バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていないかを確認してください。 **⚠注意** ● **バーナーキャップを正しく取り付ける。** バーナーキャップを正しくセットしなかった場合、点火しなかったり炎が不均一になり、異常燃焼や部品が焼損するおそれがあります。 	
4. 乾電池の取り付け アルカリ乾電池(単1形：1.5V)を2個使用します。 ● 乾電池の寿命は、およそ1年が目安です。 (付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自然放電のため、寿命が短くなっている場合があります。) **[電池ケースの取りはずしかた]** ①電池ケースフタの取っ手を持ち矢印の方向に開ける。 ②電池ケース前面にある上下のケース凸部をつまむ。 ③電池ケースを手前側に引き出し、少し持ち上げながら取りはずす。 **[乾電池の取り付けかた]** ④乾電池の⊕⊖を確かめて図のように矢印方向に従って電池ケースに組み込む。 **⚠注意** ● 乾電池の⊕⊖方向は間違えない。 点火できなくなります。 **[電池ケースの取り付けかた]** ⑤電池ケースを一旦挿入して最後にケース凸部の上側を押す。 ※電池ケースを完全に押し込んだときに、下のケース凸部が下がってロックされます。 ⑥電池ケースフタを元に戻してください。 **お願い** ● 電池ケースに水などの異物が入った場合は、ふき取ってきれいにしてください。 電池機能不良の原因となります。 ● 電池ケースフタは、約70°まで開きます。それ以上は無理に開かないでください。 フタが破損する原因になります。	

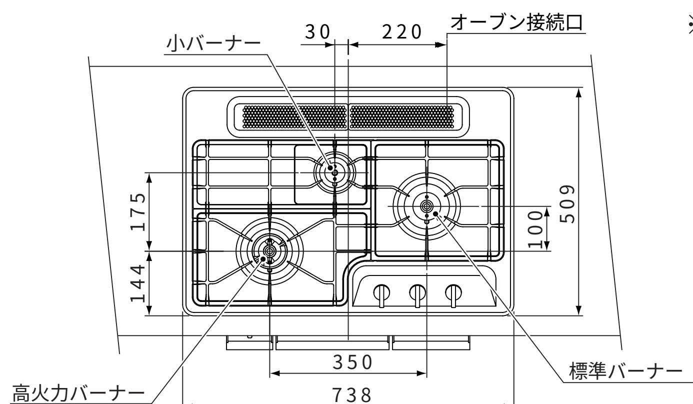
◎ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンをセットで設置する場合

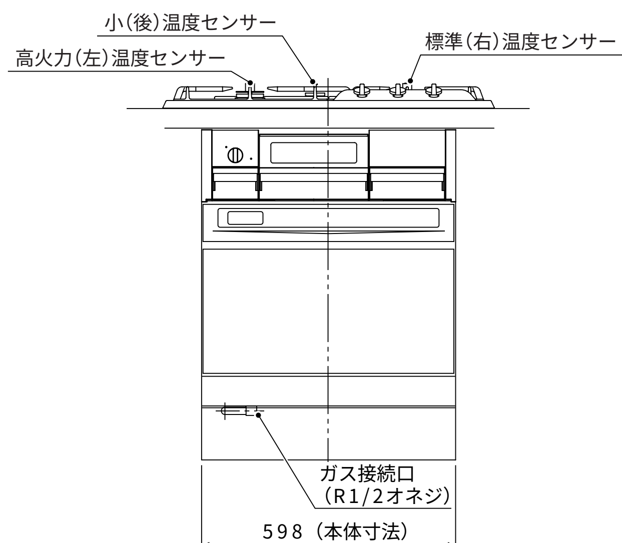
● オーブンのタイプは、ワークトップ穴あけ寸法に関係なく、A＋37仕様（Vタイプ）になります。オーブンの仕様を確認のうえ設置してください。詳しくはオーブン側の「工事説明書」を参照してください。

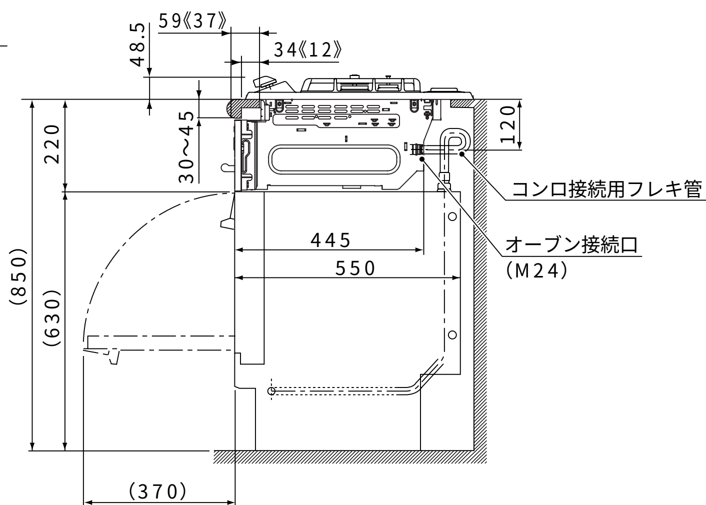
[標準設置図・機器寸法図]

※《　》内の寸法はA＋37設置寸法です。
※オーブン設置寸法は、オーブン側の「工事説明書」を参照してください。

＜単位：mm＞







[取り付け前の準備]

作　業　手　順	説　明　図
1. ビルトイン形ガスオーブンが設置されていることを確認する	――――――――
2. グリル排気口しる受け板、グリル排気筒の取りはずし ● グリル排気口しる受け板（ネジ1本、黒色）、グリル排気筒（ネジ2本）を取りはずしてください。 **取りはずしたグリル排気筒・グリル排気筒取付ネジはガス接続工事後、再度使用します。グリル排気口しる受け板は不要です。** ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	
3. 仕切板（中）・（右）の取りはずし ● 仕切板（中）（ネジ2本、黒色）・仕切板（右）（ネジ2本、黒色）を取りはずしてください。 **取りはずした仕切板（右）取付ネジはガス接続工事後、再度使用します。仕切板（中）は不要です。** ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	
4. 閉塞栓の取りはずし ● 閉塞栓押え板（ネジ1本）を取りはずしてください。 ● 閉塞栓を後方へ引き抜いてください。 **取りはずした閉塞栓、閉塞栓押え板、取付ネジは不要です。** ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	
5.前面パネル包装材の取りはずし ①**前桟パットの取りはずし** ● 前桟パットを手前に引き抜いてください。 ②**前パットの取りはずし** ● 前パットを固定しているテープのみをはがし、前パットを取りはずしてください。 **お願い** ● その他のテープ、ポリシート、施工扉パットは、機器本体のはめ込みが終わるまで、はがさないでください。<u>はがすとグリルとびら・温調操作部が開いて傷をつける場合があります。</u>	
6. ビルトイン形ガスオーブンの作業	● この作業はビルトイン形ガスオーブン側に付属されている「工事説明書」を参照して行ってください。

[ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンの組み合わせ作業]

作　　業　　手　　順	説　　明　　図
1. 機器本体のはめ込み ● 機器中央部の設置用取っ手を持ち、機器本体をキャビネットにはめ込んでください。 ・上部左右の枠を持たないでください。 ・ガス配管やバーナーなどを持たないでください。ガス漏れや異常燃焼の原因になります。 ・はめ込み時はパネルなどを傷つけないようにしてください。 ・機器周囲に取り付けてあるシールパッキンを取りはずさないでください。 **コンロをはめ込む前に、オーブン側のコンロ接続用フレキ管を右図のような形状・寸法に曲げてください。**	設置用取っ手 コンロ接続用フレキ管 (220) (100) (80) (機器内のガス配管、バーナーなどは持たないでください。) 部は持たないでください。
2. グリル内包装材の取りはずし ● 12ページ（5. 前面パネル包装材の取りはずし）で取りはずした残りの包装材を取りはずし、グリルとびらを引き出し、焼網パット・チラシ・ポリシートを取りはずしてください。	焼網パット グリル焼網 グリル受皿 チラシ ポリシート
3. サイドモールの取り付け ● サイドモールには、保護シートが貼り付けてありますので取り付け前に必ずはがしてください。 ● サイドモールをパネル両サイドの凸部（切り込み）にまっすぐに差し込み、奥にあたるまで差し込んでください。 ・サイドモールは、（左）（右）がありますので、右図のとおり取り付けてください。	サイドモール（左） サイドモール（右） 凸部（切り込み）
4. 機器本体の固定 ● 機器本体側面のナット部に付属の機器固定用ボルト（2本）を取り付け、手前についている機器固定用ボルト（2本）の計4本で、ワークトップに機器を固定してください。 **付属の機器固定用ボルト2本は予備用です。** ・機器前面とキャビネット前面とのおさまり具合を確認しながら位置決めを行ってください。 ・機器周囲に取り付けてあるシールパッキンがはずれたりしていないか確認してください。はずれたり、かみ込んだりしている場合は図のようにワークトップに密着するように確実に取り付けてください。	固定用ボルト（付属品）（2本） 固定用ボルト（取付済品）（2本） スパナ（呼び7）を使用してください。 シールパッキン ワークトップ
5. オーブンとコンロのガス接続 ● オーブン側に組み付けてあるコンロ接続用フレキ管をコンロ側の接続口と接続してください。	接続の方法は、15ページ（ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンとの接続方法）を参照してください。

作　　業　　手　　順	説　　明　　図
6. オーブン排気筒（オーブン側の付属部品）の取り付け ● オーブン排気筒上部のツバ部（穴）をコンロ側突起部に差し込みながら、オーブン後側の排気出口に確実に差し込んでください。 ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	ツバ部（穴） オーブン排気筒 ツバ部（穴） オーブン後側排気出口部 コンロ側突起部 拡大図 オーブン排気筒
7. グリル排気筒の取り付け ● 元通りにグリル排気筒（ネジ2本）を取り付けてください。 ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	グリル排気筒 グリル排気筒取付ネジ
8. 仕切板（右）の取り付け ● ネジ2本で取り付けてください。	仕切板（右）取付ネジ 仕切板（右）

[部品の取り付け]

作　　業　　手　　順	説　　明　　図
1. トッププレート・器具栓つまみ・煮こぼれカバーリング・バーナーキャップ・ごとく・グリル排気口カバー・乾電池の取り付け	取り付け方法は、9〜10ページ（[部品の取り付け]）の項を参照してください。

ガス接続・配管工事

ガス接続工事

◎ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンとの接続方法（コンロ接続用フレキ管）

⚠注意

- コンロ接続用フレキ管にOリングがついている事を必ず確認する。
  ※万一、なくなった場合や傷ついた場合は、オーブン側に予備用としてOリングが入っていますので使用してください。
- Oリングは複数個入れない。
- コンロ接続用フレキ管は斜めに挿入しない。
  ※斜めに挿入するとOリングが傷ついたり、かみ込んだりしますので、必ず平行に挿入してください。
- コンロ接続用フレキ管のナットは一定量圧縮するとそれ以上まわらなくなりますので、無理にまわさないでください。
- 固定金具のスリット穴の中に接続継手と接続用フレキ管ナットのつば部が入っていることを必ず確認する。
- コンロ接続用フレキ管は、ねじったり、繰り返し曲げたり、衝撃を与えたりしない。
  ガス漏れの原因になります。

作業手順	説明図
■接続部の構造	
1. オーブン側に組み付けてある接続用フレキ管のナット部を⇨方向へ移動させてください。	
2. 挿入部を接続継手と平行に奥まで確実に挿入してください。	
3. 手じめで接続用フレキ管のナットを回し、ナットのつば部と接続継手のつば部が合うまでしめ込んでください。	
4. ナットと接続継手の両方のつば部が固定金具のスリット穴に入るように固定金具をはめ込んでください。 ※固定金具はナットのゆるみを止めるもので固定金具のスリット穴の中に接続継手とナットのつば部が入っていることを確認してください。	

■ガス配管工事

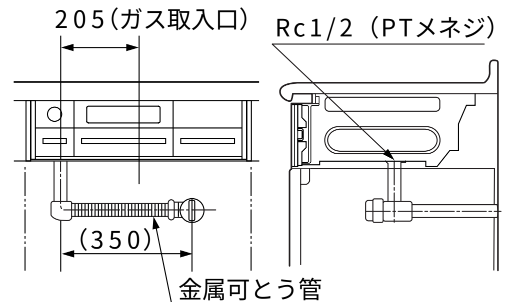
◎機器を設置する場所にガス栓がない場合や、あっても適切でない（位置・口径）場合は、新設または交換をしてください。

◎ガス接続方法

[ビルトインコンロ単体で設置する場合]

- ガス接続は金属管または金属可とう管を使用してください。
- ガス接続はRc1/2（PTメネジ）です。

標準配管接続例



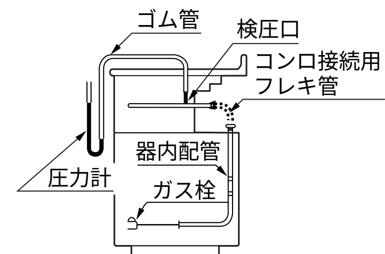
[ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンをセットで設置する場合]

- ガス接続口、配管工事は、オーブン側の「工事説明書」を参照してください。すでにオーブンが設置されている場合は、15ページのガス接続工事に従ってガス接続をしてください。

◎工事後のガス漏れ確認

[機器のガス接続が完了している場合]

- 検圧口（コンロとオーブンをセットで設置した場合は、オーブンまたはコンロの検圧口）に圧力計を接続し、ガス栓を開いて一旦ガス圧を加えた後、ガス栓を閉じて圧力計の指示が下がらないことを確認してください。



[機器のガス接続ができていない場合]

- 検圧口に接続したゴム管から空気を吹き込み、圧力が逃げないようにゴム管を圧力計につなぎ替えて、圧力計の指示が下がらないことを確認してください。

[ガス漏れ確認終了後]

- 検圧口ネジは確実に取り付けてください。
- ビルトインコンロ側で検圧した場合は、必ず付属のアルミパッキンと取り替えてください。

◎試運転

- 取扱説明書の「点火・消火のしかた」に基づいて試運転を行ってください。
- 試運転終了後また、長期間使用しないときはガス栓を閉じ電池を抜いておいてください。